



# 街路樹



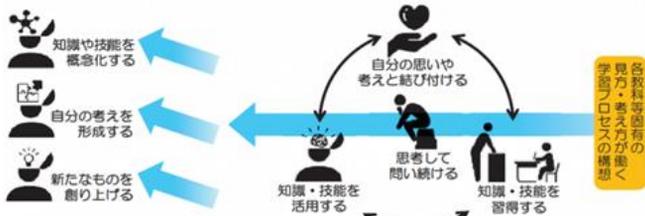
## 深い学びについて考える

## 「子にも親にも寄り添って！」

～教育相談部～

授業の最後に、「自分の考えを書きましょう」という教師の働きかけで子どもたちはノートに向かいます。しかし、本時のねらいとずれがある内容で終わってしまうこともよく見られます。思考が深まらないと「深い学び」への到達は難しくなります。習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解につなげる「深い学び」。イメージは次のとおりです。

授業の準備  
知識や技能の適用場面を設定  
既習内容や経験と関連付けた思考の促進  
極の問いの難易化  
適切な課題の設定



普段の授業では、自ら問いを見だし、課題追究・解決を行う、探究の学習過程を取り入れること、情報を基に自分の考えを形成させることが大切になってきます。自分の考えを形成させるためには、個人思考～集団思考～個人思考と、自分の考えを書かせてから、追究したり話し合い活動をさせていくこと、最後にまた考えを書かせることが大切になってきます。

授業(単元)の終末で児童生徒が自分の考えの変容に気づくことで、「問い続ける」ことが少しずつ身についていきます。単元構想の中で、どこで重点化していくか意識していきましょう。

参考：「深い学び」を実現する子供のイメージ例 教職員支援機構

子どもの問題行動の陰には、子ども自身の持つ特性や家庭教育環境に課題が見られることがあります。子どもの成長には個人差があり、バランスよく成長していくとは限りません。社会性がゆっくり成長していく子もいます。就学してすぐに学校生活に適應できない場合、学習面で理解が遅かったり集団生活に遅れたりすることが多々見られます。そのため、親や教師に叱られることが多く、自信を無くしてしまうことがあり、学習面・生活面で意欲を失ってしまうことがあります。

子どもの成長に携わる親や教師は、健やかな子どもの成長のために適切な支援をすることが必要です。その子の持つ特性を理解して、少しでもできたことや頑張っていることを認めたり褒めたりして、意欲を高めていくことは大きな効果を生みます。そのためには、できないことに目が行きがちな保護者に対して、教師は学校での子どもの頑張りを伝えることがよいと考えます。保護者に子どものよさに気づかせ、家庭でも褒めてもらうようにします。そのことで、学校や家庭で褒められることが多くなった子どもは、自分に自信を持って頑張るようになり、問題行動が減っていくことが期待できます。

◎子どもの良さを共有していくことで、子どもだけでなく家庭とも信頼関係を構築していきましょう。



## 研修に「ワールドカフェ方式」取り入れてみませんか？

会議などのフォーマルな場面以外に、例えば休憩時間に職員室でお茶を飲みながら話しているとき、ふと授業についての良いアイデアが浮かんだり、子ども達についての新たな気づきがあったりということはありませんか。

ワールドカフェとは「知識や知恵は、機能的な会議室の中でだけで生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創造される」という考え方に基づいた話し合いの手法です。

当センターの研修でも、初任者研修や道徳教育実践講座での協議に取り入れてみました。右の図のような手順が進めたところ、初めて顔を合わせた先生方が、テーマについて活発に意見を交流しながら、研修を深められている様子が見られました。少人数グループでの話し合いを基本としながらも、他の班と交流を持つことで、新たな気づきが生まれたり、考えが深まったりして、参加した多くの先生方との一体感を感じたとの感想も寄せられました。円卓を囲んだり、メンバー構成を工夫したりして、いつもとは違う校内研修に取り組んでみませんか。



ワールドカフェの流れ

テーブルごとの話し合い (第1ラウンド)	テーマについて <b>探究</b> する	4人ずつテーブルに座って、問いについて話し合う
席替え		
テーブルごとの話し合い (第2ラウンド)	<b>アイデア</b> を <b>他花受粉</b> する	各テーブルに1名のホストだけ残し、他のメンバーは旅人として別のテーブルに移動する。新しい組み合わせになったので、改めて自己紹介し、ホストが自分の対話の内容について説明する。ホストは自分のテーブルで出たアイデアを照らし合いながら探求する。
席替え		
テーブルごとの話し合い (第3ラウンド)	<b>気づきや発見</b> を <b>統合</b> する	旅人が基のテーブルに戻り、旅で出たアイデアを紹介し合いながら対話を継続する。
全員での振り返り	<b>集合的な発見</b> を <b>収穫し、共有</b> する	ホストがファシリテーターになって、全体で対話する。

ワールド・カフェをやらう！香取一昭・大川恒より引用